発行日　2016年5月31日
発行責任者　公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
〒105-0003 東京都港区西新橋2-22-1
西新橋2丁目森ビル7階
TEL.03-6809-2034　FAX.03-3436-3666
http://www.son.or.jp

Special Olympics Nippon

Rainbow

vol. 30

公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 NEWS

スペシャルオリンピックス（SO）とは　知的障害のある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと成果の発表の場である競技会を年間を通じて提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。

2016年第6回 スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム

新潟

大会報告　2016.2.12～14

2016年第6回 スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム・新潟

2016年2月12日～2月14日

高円宮妃殿下

開会式

閉会式

レセプション

大会概要

大会名称……2016年第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟
スローガン …… トキめけ キラめけ 力いっぱい 心いっぱい ～ささえあう笑顔 ひろがる勇気 感動を 新潟から～
開催地……新潟県新潟市・南魚沼市
開催期間……2016年2月12日～2月14日
参加地区数……31地区
参加者数……アスリート614名 / コーチ・役員329名 / ボランティア 延べ4,100名
実施競技……7競技 アルペンスキー、スノーボード、クロスカントリースキー、スノーシューイング、フィギュアスケート、ショートトラックスピードスケート、フロアホッケー

2016年第6回スペシャルオリンピックス日本
冬季ナショナルゲーム・新潟
大会会長

有森裕子

（スペシャルオリンピックス日本 理事長）

第６回目となった冬季ナショナルゲームは、2017年にオーストリアで開催される世界大会の日本選手団選考を兼ね、31地区より 900名以上の選手団が参加しました。アスリートたちは今大会を目標に各地区で実施しているスポーツトレーニングに励み、その成果を発揮することができました。これも、延べ 4,000名を超えるボランティアの方々をはじめ、大会を支えてくださった地元新潟の方々や支援企業・団体の皆様のご協力のおかげと、心より感謝申しあげます。また、私たちは、知的障害のあるアスリートと知的障害のないパートナーがチームを組み競技を行う「ユニファイドスポーツ」を展開していますが、今大会初めての試みとして、知的障害のある方が競技者としてではなく、パートナーと共に大会を支える側のボランティアとしても参加しました。今後も、ユニファイドスポーツや今大会のようなボランティア等を通じてお互いの個性を理解し合い共に頑張る機会を提供し、「共に生きる」社会を目指していきたいと思います。

2016年第6回スペシャルオリンピックス日本
冬季ナショナルゲーム・新潟
大会実行委員長

平山征夫

（スペシャルオリンピックス日本・新潟 理事長）

昭和８年以来の小雪となり、一時は雪上競技の開催が心配されましたが、関係者の努力と自衛隊の応援により無事競技を実施することができました。開会式では、北澤豪さんをはじめとするサポーターの方々とアスリートとの聖火リレー、上越市の陶芸家・髙井進さん力作の聖火台への点火、地元アイドル Negiccoのパフォーマンスと、一挙に盛り上がっていきました。競技では、日頃のトレーニングの成果を発揮するアスリートの気力溢れる姿が、各会場を訪れた観客に大きな感動を与えました。閉会式では、支援学校生徒の演奏や知的障害のある方々のダンスチームのよさこいで、会場いっぱいに踊りの輪ができました。この大会が多くの人たちに感動を与えながら無事終えることができたのも、行政や協賛くださった多くの企業・団体・個人・ボランティア、そして、参加された各地区選手団の皆さんのおかげです。心からお礼申しあげます。

アルペンスキー

会場: 五日町スキー場(南魚沼市)

参加アスリート感想●武田 和幸(SON・東京)

僕は新潟で生まれたので、今回の大会をとても楽しみにしていました。開会式にはおじいちゃんとおばあちゃんが来てくれて嬉しかったです。レースは、いつも焦って転んでしまうので、転ばないことを目標に落ち着いて頑張りました。予選も決勝も転ばずに滑ることができて、良かったです。そして、決勝はまさか優勝できると思わなかったので、びっくりしました。とても嬉しかったです。コーチと一緒に喜びました。おばあちゃんにも電話で報告したらとても喜んでくれました。これからもたくさん練習して、次の大会も頑張りたいと思います。

スノーボード

会場: 五日町スキー場(南魚沼市)

参加アスリート感想●倉本 順平(SON・福岡)

僕は、スノーボードで新潟大会に出場しました。1日目の予選は2本滑りました。少しドキドキしたけど転ばないでうまく滑れてよかったです。2日目は天気がいまいちだったけどコーチにアドバイスをもらい決勝に臨んで予選よりよいタイムが出てうれしかったです。新潟のスキー場はとても滑りやすくてよかったです。

参加アスリート感想●菊池 皓瑛(SON・岩手)

スノーボード・スーパーグライドに出ました。コーチの話を聞き、練習を思い出して滑りました。予選は、慎重に滑りましたが転んでしまいました。決勝は雨が降ってたけど、転ばないでゴールできました。もっと練習をしてかっこよく滑りたいです。

クロスカントリー

会場: 五日町スキー場(南魚沼市)

参加アスリート感想●飯酒盃 未結(SON・新潟)

私は初めてスペシャルオリンピックスのナショナルゲームに出場しました。遠くから来てくれたDALボランティアのお姉さんやお兄さんと仲良くなって、たくさん話ができました。100メートルでも金メダルがもらえて嬉しかったです。家族や学校の先生達など、私を知っている人がたくさん応援してくれました。ありがとうございました。スペシャルオリンピックスの練習も楽しいです。学校の他にも新しい友達がたくさんできました。これからの練習を頑張って、次の大会では、今よりも長い距離に出場したいです。

スノーシューイング

会場: 五日町スキー場（南魚沼市）

参加アスリート感想●小方 基宏（SON・山口）

大会の間、コーチや宿舎の方がいろいろ面倒を見てくださいました。おかげで、無事に決勝に出られ金メダルをもらいました。山口に帰って、市長さんを表敬訪問し、金メダルの報告をしました。褒めていただき嬉しかったです。

参加アスリート感想●坂上 加那子（SON・和歌山）

決勝の日は、雨で走るのが大変だったけど、一生懸命に前を向いて頑張りました。コーチやボランティアさんもゴールしたら泣いて抱き合って喜んでくれました。和歌山の応援フラッグも南魚沼市の中学校の皆さんが作ってくれました。銅メダルも貰えたし、大会に出場して良かったです。

フィギュアスケート

会場:新潟アサヒアレックスアイスアリーナ（新潟市）

参加アスリート感想●佐々木 菜那（SON・宮城）

ナショナルゲームは 2回目で前回よりも上級のレベルで出場することができて嬉しかったです! とても緊張し、またリンクも寒くてどうなることかと思いました。そして、優勝は無理だと思っていたので、1位になれてとても嬉しかったです!金メダルは安藤美姫さんが掛けてくださり、びっくりしました。一緒に出場した皆と、良い思い出がたくさん作れた大会でした。

参加アスリート感想●清水 瑚都（SON・神奈川）

初めての大会で、ドキドキしました。大会期間中にも不安な気持ちになりましたが、皆が応援してくれたから「気持ちの炎」が燃えてとても楽しく滑ることができました。

ショートトラックスピードスケート

会場:新潟アサヒアレックスアイスアリーナ（新潟市）

参加アスリート感想●郡家 雄也（SON・神奈川）

新潟大会で僕はたくさんの経験をしました。ボランティアさんと一緒に試合前に準備体操をしたりして、とても楽しくリラックスして試合ができたのでボランティアさんに感謝しています。チーム神奈川のみんながメダルを取れたことが一番良かったです。僕も金メダルが取れて嬉しいです。これからもたくさん練習してタイムを少しでも縮めたいです。また、大会では他の地区のアスリートと話したり、選手団生活を楽しむことができました。大会でお世話になった皆さんありがとうございました。

フロアホッケー

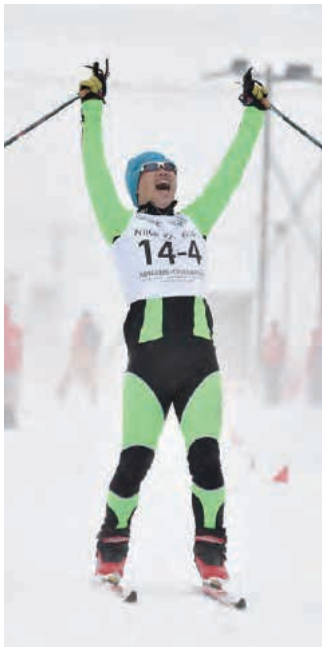
会場: 朱鷺メッセ(新潟市)

参加アスリート感想●杉森 建彦(SON・富山)

今回の大会では、SON・富山選手団としてフロアホッケーのチーム競技に参加しました。大会では、12名のアスリート全員で協力してメダルをとることができました。僕はキャプテンとしてゲーム以外でもチームのみんなに声を掛けたり、身の回りのお手伝いをしたりしてチームを盛り上げることを頑張りました。サポーター、ファミリーの大きな応援にとても勇気づけられました。また、ボランティアの方々がとても優しくしてくださったのがうれしかったです。とても良い大会でした。ありがとうございました。

ユニファイドスポーツ®

実施競技: クロスカントリースキー、フロアホッケー



知的障害のある人(アスリート)と知的障害のない人(パートナー)がチームを組み競技を行う取り組みを「ユニファイドスポーツ®」と呼びます。

今大会冬季競技にて初めて、「ユニファイドスポーツ®」を導入し、クロスカントリースキーユニファイドリレーを公式種目としてユニファイドスポーツ®・プレーヤーデベロップメント形式で実施しました。ユニファイドリレーには4地区が参加し、白熱したレースが繰り広げられました。

また、フロアホッケーでも、ユニファイドスポーツ®・プレーヤーデベロップメント形式によるデモンストレーションを実施し、新潟市内中学生、高校生がチームを組み出場しました。

ヤングアスリート™プログラム

会場: 朱鷺メッセ(新潟市)

ヤングアスリート™プログラムは、2歳半から7歳の知的障害児を対象にした、スポーツと遊びを融合させたユニークな活動です。子どもたちにとって“楽しさが先導する”ことを大切にし、大学生が中心となって、デモンストレーションを運営しました。ヤングアスリート™プログラムは、幼児期に最も重要である“多様な基本運動動作の体験と洗練化”“運動・スポーツ好きなこどもの育成”を行います。そして、将来のスポーツ活動への準備として、スペシャルオリンピックス活動への参加につなげることを目指しています。

ヘルシー・アスリート®・プログラム（HAP）

会場: 朱鷺メッセ（新潟市）

ヘルシー・アスリート®・プログラムは、アスリートの健康を増進し、トレーニングや競技する能力を高め、競技会などで実力を最大限に発揮できるよう健診を行います。診断結果をアスリート本人やコーチ、ファミリーに伝えることで、健康に対する意識や知識の啓もうを行い、生活の質を向上させることを目的に実施しています。

医療関係者有志の方々や学生など多くのボランティアの協力のもと、大会期間中の2月12日～2月13日に6部門（筋力・柔軟性改善、視力、聴力、口腔、足、栄養・生活習慣）の健康チェックが行われました。なお今回、地域の知的障害のある方へも診断の機会を提供しました。

体験プログラム

会場: 五日町スキー場（南魚沼市）
競技: スノーシューイング

大会 2日目の南魚沼五日町スキー場にてスノーシューイングの体験プログラムを実施しました。体験プログラムには、本大会に参加していないアスリートとまだスペシャルオリンピックスに参加したことがない知的障害者のある方に参加していただきました。スペシャルオリンピックスのプログラムを体験してもらい、スポーツの楽しさやスペシャルオリンピックスを知ってもらう機会となりました。また、今回の体験プログラムにはスペシャルオリンピックス日本ドリームサポーターの北澤豪さんにも参加いただき、アスリートたちと雪の上を駆け抜けました。

フィギュアスケートエキシビション

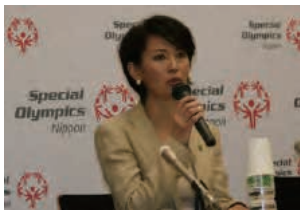
会場: 新潟アサヒアレックスアイスアリーナ（新潟市）
競技: フィギュアスケート
出演: 安藤美姫さん、森理世さん

大会 2日目の新潟アサヒアレックスアイスアリーナにて、大会サポーターの安藤美姫さんとスペシャルオリンピックス日本ドリームサポーターの森理世さんが、アスリートと一緒にフィギュアスケートエキシビションを行いました。華麗な演技を前にして、会場は大きな歓声に包まれました。

記者発表

日程: 2015年 2月 23日(月)
会場: 朱鷺メッセ中会議室(新潟市)

2015年2月23日(月)、新潟市朱鷺メッセにて今大会の記者発表を開催しました。有森裕子大会会長が「今大会を通じて、これまで以上にインクルージョン社会の実現を目指していく」など大会への想いを話しました。また、新潟市の篠田市長と南魚沼市の井口市長に大会をサポートしてくださる旨お言葉をいただきました。そして、今大会の大会サポーターとしてご協力いただいたプロフィギュアスケーターの安藤美姫さんと、フィギュアスケーターで新潟市文化・スポーツコミッション親善大使の今井遥さんから応援メッセージをいただきました。最後に、地元新潟のアスリートと平山大会実行委員長が大会への意気込みを力強く述べ、大会開催を PRしました。



採火式 /分火式 / トーチラン

日程: 2015年 5月 14日(木)
会場: 八海山尊神社(南魚沼市)
八海醸造㈱魚沼の里(南魚沼市)

2015年 5月 14日(木) 採火式、分火式、トーチランを開催しました。八海山尊神社にて、今大会の大会火となる聖火を採火して大会の安全法要祈願をした後、八海醸造(株) 魚沼の里にて、全国から参加した 10の地区組織に聖火を分火しました。その後、大会開催の認知度を高め、協力・支援の輪を広げるため、トーチラン(聖火リレー)を行いました。

大会を応援してくださったサポーターの方々

スペシャルオリンピックス日本ドリームサポーター / 2007年ミス ユニバース世界大会優勝

森　理世さん

新潟大会を終え、アスリートの皆さんをはじめ多くのスタッフの皆さん、ボランティアの皆さんの心に、また一つ素晴らしい宝物が増えたかと思います。ドリームサポーターを務め8年が経ち、スペシャルオリンピックス日本での活動を通して数え切れない程の素晴らしい経験をさせていただいております。アスリートの皆さんからは、「全力で前へ進む力」「仲間を思いやる気持ち」「勇気」を学びました。そこで私もドリームサポーターとして前へ進む時期だと感じ、違った視点でアスリートの皆さんと大会に挑もうと思い、今大会が行われる半年前から生まれて初めてフィギュアスケートを習い、大会当日にアスリートと一緒にユニファイドで演技を披露し、一生の思い出となる経験をさせていただきました!エールを送るだけではなく、共に頑張る!挑戦する!その気持ちを共有したく、この機会をくださった全ての皆さんに心から感謝申しあげます。そして、これからも現在進行形でドリームサポーターとして頑張ります!

スペシャルオリンピックス日本ドリームサポーター / 元サッカー日本代表

北澤　豪さん

現在スペシャルオリンピックスでは「ユニファイドスポーツ」が注目されています。私も今大会では応援する側としてだけではなく、体を動かしながら、アスリート達と触れ合いたいと考えていました。

開会式では、アスリートと一緒に聖火を繋ぎ、大歓声の中を走り抜けることができました。大会2日目には南魚沼市のスキー場でスノーシューイングを体験させていただきました。今大会も会場は元気な笑顔のアスリートとボランティアの皆さんで溢れていてスペシャルオリンピックスならではの雰囲気を感じながら雪の中をアスリートと一緒に走り、体を動かし続けた、最高に熱い 2日間でした。会場の応援も毎回大きくなっていることも感じました。ユニファイドスポーツという新たなムーヴメントを広げていきたいですし、私はこれからもスペシャルオリンピックスを応援し続けます!

大会サポーター / プロフィギュアスケーター

安藤 美姫さん

スペシャルオリンピックスの活動になかなか携わる機会がなかったのですが、ご縁をいただき2015年 2月に行われた今大会の開催記者発表や 2015年夏季世界大会日本選手団結団式にも出席させていただきました。そして今大会、大会アンバサダーとして開会式でのトーチリレーや表彰のプレゼンターを行いましたが、その雰囲気の明るさに心を打たれました。また、フィギュアスケートエキシビションでは高円宮妃殿下と皆さんの前で滑らせていただき、アスリートと一緒に滑っている時間は無意識に笑顔がこぼれていました。今大会を通じて、「スポーツの本来の楽しさと同時に人と人が繋がれる」ということに、改めて気づかされたように思います。皆さんにも、スペシャルオリンピックスの順位を競うだけじゃない、スポーツを楽しむという喜びを感じていただきたいと思いますし、オリンピック、パラリンピックと同じようにこの活動が広まっていくよう、今後もお手伝いができたらと思っています。

大会サポーター / フィギュアスケーター、新潟市文化・スポーツコミッション親善大使

今井　遥さん

スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲームが新潟にて盛大に開催され、また、大会サポーターとして関わることができたことに大変嬉しく思っています。開会式では、全国から参加されたアスリートの皆さんが会場に集まり、1人ひとりの大会への想いやパワーをもの凄く感じました。そんな中、最後のトーチランナーとして大会聖火台に聖火を点火する大役を努めさせていただき大変光栄に思いました。私は新潟市文化・スポーツコミッション親善大使として、今後、新潟でのスペシャルオリンピックス活動をはじめ障害の有無にかかわらず、スポーツを通じて新潟県を盛り上げていきたいと同時に、皆さんと同じ競技者として大会で最高のパフォーマンスができるよう練習を積み重ね、スペシャルオリンピックスのアスリートの皆さんのように多くの方々に感動を与えられるよう努めていきたいと思います。アスリートの皆さん一緒にがんばりましょう!

大会サポーター / アイドル・ユニット

Negiccoさん

2003年に結成された新潟発アイドル・ユニットで、メンバーは Nao☆、Megu 、Kaede。2005年にスペシャルオリンピックス日本・新潟のイベント出演をきっかけに、新潟でのスペシャルオリンピックス活動を応援していただき、その後、地球環境を整えるエコキャンペーンやゴミを減らす為の 3R推進活動、飲酒運転撲滅キャンペーン、薬物撲滅キャンペーン、赤い羽根共同募金の大使などの活動に参加し、2015年には「東アジア文化都市 2015新潟市」の文化親善大使に就任されました。公的なものや社会活動に多数参加し、現在「にいがた観光特使」を務められています。

大会では、2月 12日（金）に朱鷺メッセで開催された開会式にて、「トリプル! WONDERLAND」「ねぇバーディア」の 2曲を歌っていただき、全国から参加したアスリートたちにエールを送ってくださいました。アスリートたちは、Negiccoの皆さんと一緒に曲に合わせて席を立ち、その場でダンスをするなど、会場を大いに盛り上げてくださいました。

知的障害のある人とない人が、共に楽しみ、共に作り上げる大会を目指し、共にスポーツを行い、共にボランティアを行った新潟大会

スペシャルオリンピックス 2016 新潟

SPECIAL OLYMPICS NIPPON NATIONAL WINTER GAMES NIIGATA 2016

トキめけ　キラめけ　力いっぱい　心いっぱい

～ 支え合う笑顔　ひろがる勇気　感動を　新潟から ～

大会ロゴに使用しているカラーを、「2016新潟インクルージョンカラー」と呼びます。様々な色が自分の個性を主張しながらも、「青」があるから「赤」が目立ち、「黄」があるから「緑」が映えるというように、お互いの良さを引き出して、一人一人の個性を活かしながら、多くの人たちがひとつになってかかわる大会の象徴として採用しました。

『コンセプトとレガシー』

実行委員会事務局長
久保田 健

今回私たちは「知的障害のある人とない人が、ともに参加し作り上げる大会にしよう」という大会コンセプトを掲げました。その実現のために、①知的障害のある人とない人がともにスポーツを楽しむ機会を設けること、②知的障害のある人とない人が協力してボランティア活動に取り組む機会を設けること、の２つの実践を目指しました。

当初はコンセプトに対する理解や協力を得られるか不安もありましたが、準備期間における、地元小中高校生・専門学校生・大学生との交流プログラム、特別支援学校生徒による開会式ステージスロープや募金箱の製作、大会事務局での職場実習など、コンセプトを意識した取組を広く継続的に展開することで、大会コンセプトが徐々に、また確実に浸透していったと感じました。そして大会当日は、ユニファイドスポーツ、mitボランティア、閉会式でのアトラクションという姿でコンセプトが表現され、たくさんの方に共感していただくことができました。

こうした成果に、新潟のアスリート、ファミリー、スタッフ及び関係者は、共生社会の実現に向けての確かな手ごたえを感じています。今後は、地区大会や日常のプログラムにおいてもユニファイドスポーツや mitの実践を継続し、今大会のレガシー（遺産）として地元新潟にて、定着させたいと盛り上がっています。

『ホスピタリテイあふれる大会を目指して』

南魚沼市実行委員会事務局長
谷口 博文

全国 31の都道府県から訪れる選手団、ファミリー、メディアを迎えるため、南魚沼市らしさ「簡素ながら真心のこもった温かいおもてなし」を目指しました。そして、まだスペシャルオリンピックスを知らない市民含め多くの人々にも、「南魚沼市で最高の思い出」を作っていただこうと市内各地域、学校、事業所等での活動を行いました。

大会を盛り上げるために南魚沼市の小中学校、総合支援学校の児童・生徒の皆さんによる「一校一運動（歓迎フラッグの作成）」や大会期間中、南魚沼市立の小学校、総合支援学校の皆さんが南魚沼里山支局の記者として臨場感たっぷりのスペシャルオリンピックス新聞を発行し、そして地元協力隊の心のこもった温かい豚汁、お餅、甘酒で南魚沼市の味を提供いたしました。

また、「南魚沼市大会を応援する会」では、スペシャルオリンピックスの歴史や障害者スポーツの現状等の DVDを制作し、歓迎のぼり旗を装飾、そしてシンポジウムの開催など、今回の大会を機に共生社会への大きな一歩となる活動となりました。

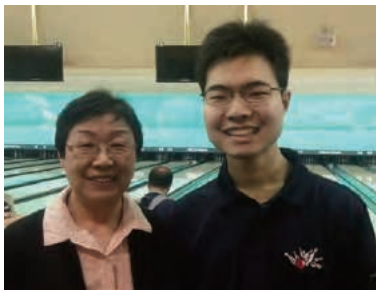
選手団交流会や閉会式に集い、交流を楽しみながら一緒に思い出を作ったアスリート、ボランティア、市民など南魚沼市ホスピタリティを全国に発信するため、自発的な活動が繰り広げられた大会になりました。

mit（ミット）

今大会、初の試みとして知的障害のある人とない人がペアになり、大会のボランティアとして参加する「mit」と呼ぶ取り組みを行いました。「mit」の語源は、カンボジア語で「友達」、ドイツ語では「一緒に」という意味があり、競技者ではなく、大会を支える側として知的障害のない方々と一緒にボランティアすることを目的に実施しました。mitには40組のペアが参加し、大会当日のみならず、準備期間中も多くのメディアに紹介されました。

近藤 弘基さん
（mitアスリート）

今大会、初めてのボランティアに緊張と不安がありました。ボランティア活動ができることは嬉しかったのですが、しっかりとやれるのかという事に複雑な気持ちがありました。僕の活動は、2月13日（土）14日（日）の 2日間で、フロアホッケー会場である朱鷺メッセの警備でした。mitで一緒に活動する方やグループの皆さんのおかげで頑張って何事もなく終わることができました。



（写真左）丸山 惠子さん
（写真右）近藤 弘基さん

丸山 惠子さん
（mitパートナー）

ボウリングのプログラムに参加している近藤さんとペアになり、警備の業務を一緒に行いました。いつもの落ち着いた姿から彼の自主性を尊重しようと心がけました。近藤さんは、ボランティアリーダーの話を聞きとり先々と配置場所へ移動し「ようこそ。こちらからどうぞ」「段差があります。足元に注意してください」と元気に声をかけ、大会に参加するアスリートからは「ありがとうございます」と感謝されていました。2日間無事に終え、ほっとした笑顔で達成感と自信が溢れていました。mitとして参加しなければわからない貴重な体験をさせていただきました。

樋口 達平さん
（mitアスリート）

僕は、友達のお母さんと mitというボランティアをやってみました。朝は早いし最初は気がのりませんでした。

でも、2日目はなれてきて、同じ班の人と話すことができました。フロアホッケーの会場で、安藤美姫さんに会いました。会えてうれしかったです。

大会に出ている選手の皆さんを見て、僕が今、やっているスペシャルオリンピックスのサッカーをがんばりたくなりました。いつか大会に出たいと思います。

（写真左）樋口 達平さん
（写真右）中山 美香さん

中山 美香さん
（mitパートナー）

今回の新潟大会に mitとして参加したのは、「夏季大会に参加させてもらったから今度は大会を支える番だね」という息子の言葉がきっかけでした。これだけ多くの方々に支えられて大会が運営されていたということを改めて実感することができました。ボランティア同士の交流もあり、少しでも多くの方にスペシャルオリンピックスのことを知っていただき、また、障害のある方もボランティアに参加することで自立支援につながるよい機会になったと思います。

聖火台

聖火台制作者／陶芸家
髙井　進さん

約10年前にスペシャルオリンピックス日本・新潟が設立された際にも微力ながらお手伝いさせていただき、今大会の聖火台制作の話をいただきました。2011年の東日本大震災直後に前回の冬季全国大会が福島で開催され、そのエネルギーと情熱を受けて新潟県で初めて開催される全国大会という意義をどう形にして伝えるか。そして何よりも大事なスペシャルオリンピックスが目指している「障害のある人も障害のない人も共に生きる社会の実現」をどう伝えるかを胸に、制作に取り掛かりました。

土台部分には、東日本大震災被災地の陸前高田の土を使い、胴体部分には新潟万代島の砂を使うことで、前回の福島大会から新潟大会へと繋がる冬季大会であることを示し、基本的な造形として「方円構造」を採用することで共生社会づくりを目指すスペシャルオリピックスの精神を伝えることとしました。

聖火台全体としては土台部分である大地、胴体部分である海、聖火をともす空の3つで構成することで、すべてが生命で繋がっている地球、多様な生き物がそこに生まれ育つ地球、そこで展開されているスペシャルオリンピックスの崇高な活動を象徴しています。

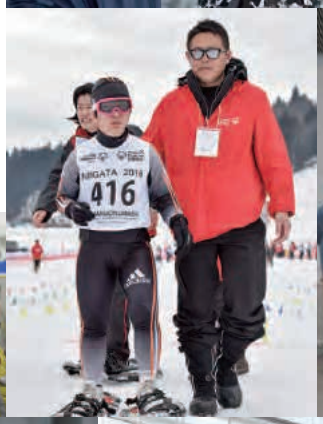
「水は方円に従う」という言葉のように、この聖火台を見た人の心が、障害のある人も障害のない人も、方円に従う水のように素直に、自然にひとつになることで、素晴らしい世界が実現することを願っております。

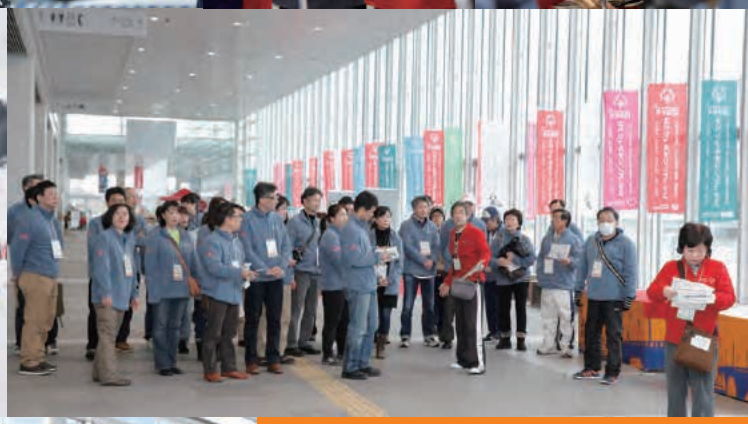
大会を支えてくださったボランティアの方々

県内・県外から述べ 4,100名のボランティアが参加!
大会運営や選手団サポートにご協力いただき、アスリートたちの今大会の活躍を支えてくださいました!

株式会社ユニクロ 陳 敦輝さん（表彰ボランティア）

4年前に会社の CSR活動の一環にあるスペシャルオリンピックスの活動を知り、今回やっと参加でき、アスリートたちをサポートできたことが嬉しく思います。会社の仲間たちとアスリートの表彰式のボランティアをさせていただきました。自己ベスト目指して頑張ったアスリートや彼らを笑顔で応援する家族やコーチの姿を見て感激しました。アスリートたちと交流でき、楽しいひと時を過ごすことができたと同時に、「私たちができること」を考える貴重な機会になりました。



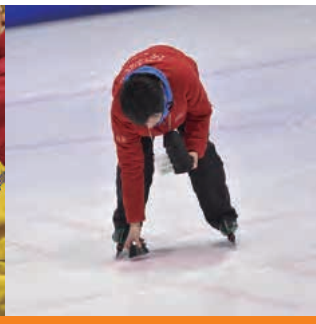


日本コカ・コーラ株式会社 ボランティア代表（報道受付）

参加させていただいた3日間は、とても貴重な体験になり、このような経験をさせていただいたことに心から感謝しています。コカ・コーラとしては、初めてのボランティア参加と聞いており、感動の3日間でした。ボランティアに参加し、彼らの自分の気持ちに対して、とても「素直な姿勢」や彼らのアスリートとしての「挑戦する気持ち」「あきらめない強さ」を感じました。私たちがボランティアとしてサポートできたものより、アスリートたちから教えてもらったものの方が大きかったです。

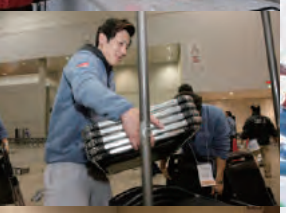
ソリマチ株式会社
清塚 幸一さん（開会式 /選手団交流会）

大会の半年前より社内で応援プロジェクトチームを発足し、グループ全社をあげて準備してまいりました。私自身は開会式の受付と、選手団の交流会運営のお手伝いをさせていただきました。競技に直接関係する仕事ではありませんでしたが、裏方として運営側や参加選手団の皆様のお役に立てたことと、全国から集まったアスリート達の満面の笑みを見ることができて本当に良い経験となりました。



トヨタ自動車株式会社
木下 景太さん（フロアホッケー会場）

社内募集に申し込んだ 34名の仲間と一緒に、3日間にわたり、フロアホッケー競技の設営とアスリート誘導、そして表彰式のボランティアに参加しました。知的障害のある方と接することは、もっと難しいと思っていましたが、熱闘を終えた選手と、ただただハイタッチをするだけでコミュニケーションが取れたような気持ちは不思議な感覚でした。表彰式では再会した選手が抱きついてきてくれたり、ファミリーから声をかけていただいた時には思わず感激の涙がにじみました。



アシックス労働組合
脇田 大樹さん（アルペンスキー会場）

私はリフトのサポート担当で、アスリートのリフトの乗り降りをお手伝いしました。選手たちに「がんばってね !!」と声をかけると、反対に「お兄さんもがんばってね !!」と返されることがありました。競技を支える側を励ますことができるなんて、何て凄いことなのだろうと。言葉は思うように出なくても、ゴールした瞬間に雄叫びを上げたり、互いを鼓舞する姿を多々目にする中で、心を通じて共鳴できるスポーツの偉大さを改めて実感しました。

公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本
2016年第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟
寄付・協賛企業団体一覧

■ナショナルパートナー
(株)ユニクロ、トヨタ自動車(株)、ソフトバンクグループ(株)、ソニー生命保険(株)、アディダス ジャパン(株)、富士ゼロックス(株)

■ウエブサイトパートナー
サイエントグループ

■プレミアスポンサー
日本KFCホールディングス(株)、日本コカ・コーラ(株)、日本航空(株)、三井住友海上火災保険(株)

■マーケティングパートナー
(株)アライヴン

■プロモーションパートナー
(株)AOI Pro.

■大会プレミアスポンサー
東京海上日動火災保険(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行(株)、明治安田生命保険相互会社、
東京マラソンチャリティ“つなぐ”、(株)八海醸造、ピーアークホールディングス(株)、(株)ラナ、(株)JAMMY

■助成金
新潟県コンベンション開催費補助、(公財)新潟観光コンベンション協会コンベンション開催補助、(福)新潟県社会福祉協議会、(福)新潟市社会福祉協議会、
(独)日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成、スペシャルオリンピックス冬季世界大会長野記念資金、(一財)日本メイスン財団、全国生活協同組合連合会、
全国労働者共済生活協同組合連合会、スペシャルオリンピックス国際本部、(公財)森村豊明会、(公財)ヤマト福祉財団、マテルこども財団

■フレンドシップスポンサー
(一社)日本フードサービス協会、(株)NTTドコモ、(株)スリーボンドホールディングス、(株)三井住友銀行、三井不動産(株)、三井物産(株)、日本生命保険相互会社、リシュモンジャパン(株)、
SCSK(株)、ドイツ銀行グループ、(株)セイブシステムリンク、ニホンモニター(株)、ビザ・ワールドワイド・ジャパン(株)、信越化学工業(株)、(株)大林組、加賀電子(株)

■マーケティング支援企業
(株)オニザキコーポレーション

■大会オフィシャルパートナー

新潟万代島総合企画（株）、（株）第四銀行、（株）北越銀行、（株）ブルボン、（株）大光銀行、セコム上信越（株）、（株）新潟日報社、新潟国際情報大学、富士ゼロックス新潟（株）、庄やグループ（株）大庄、新潟石代島総合企画（株）、（公財）真柄福祉財団、（株）新潟放送、外山産業グループ

■大会オフィシャルサポーター

一正蒲鉾（株）、（一社）新潟県医師会、佐藤食品工業（株）、（株）共栄堂、亀田製菓（株）、協同組合新潟県異業種交流センター、（株）本間組、（株）中央製版、（株）コロナ、第一建設工業（株）、（一社）南魚沼建設業協会、新潟市耳鼻咽喉科医会、新潟市手をつなぐ育成会連絡協議会、新潟ロータリークラブ、（医）萌気会・（有）萌気医療介護サポート社、（株）福田組、新潟信用金庫、麒麟山酒造（株）、（株）富士通新潟システムズ、（株）新潟クボタ、国際ソロプチミスト新潟-東、こんの脳神経クリニック、（株）三條機械製作所、（株）塗装 内田組、三井物産（株）、JAグループ新潟、（株）セイヒョー、新潟医療福祉大学、丸運建設（株）、（株）北村製作所、新潟経済同友会、（株）植木組、魚沼市ものづくり振興協議会、（有）キープクリーン、（一社）新潟県歯科医師会、北陸ガス（株）、玉源（株）、（株）壱番、ビッグクレスト・フィールドクラブ、藤田金属（株）、有希化学（株）、越後製菓（株）、三条信用金庫、（株）大谷、日本精機（株）、北越工業（株）、（株）エイケイ、双峰通信工業（株）、サンアロー（株）、浅見鉄工建設（株）、国際ソロプチミスト新潟、東日本旅客鉄道（株）、日本通運（株）新潟支店、（株）BSNアイネット、（株）有沢製作所、国際ソロプチミスト新潟-茜、新潟県労働金庫、国際ソロプチミスト新潟-西、（株）新潟涌井、（株）アド・メディック、（株）KOKK、（株）池田看板、北越紀州製紙（株）、（株）重川材木店、（株）ことりや、「長岡骨と関節の日」実行委員会、（株）タカヨシ、アドバンエイジ（株）、（一社）新潟県ハイヤー・タクシー協会、魚沼地区ハイヤー協議会、新潟良寛会

■大会寄付・協賛・協力

ライオンズクラブ国際協会333-A地区、新潟北ロータリークラブ、新潟県中小企業家同友会会員一同、ほがらか福祉園保護者会、長岡長生ライオンズクラブ、（医）中村整形外科医院、（株）U -STYLE、コバケンとその仲間たちオーケストラ、小千谷ライオンズクラブ、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、長岡市立高等総合支援学校・総合支援学校後援会、久須美酒造（株）、朝日酒造（株）、（株）新潟県厚生事業共同公社、岩塚製菓（株）、（株）新潟食品運輸、源川医科器械（株）、（医）木島医院、新潟県保育士会西蒲支部、（株）中越興業、新潟ロイヤルライオンズクラブ、太陽の村保護者会、アフリカンベーカリーカフェ ナミテテ、（株）テクノジェット、長岡悠久ライオンズクラブ、ニイガタ鉄筋工業（株）、（株）ウメザワドライ、ヨネックス（株）、（公財）JAIFA新潟県協会、新潟パイロットクラブ、長岡柏ライオンズクラブ、ニイガタ鉄筋工業㈱、（株）創建築設計事務所、グリーン産業（株）、（福）新潟市中央福祉会、（株）葦原企画、三菱商事（株）新潟支店、（福）新潟太陽福祉会、新潟ワコール縫製（株）、新潟大学 人文・法経済学部同窓会有志一同、内山篤税理士事務所、北越機電工業（株）、（株）関根製作所、ハセガワ化成工業（株）、新潟県中小企業団体中央会、（福）中蒲原福祉会、（福）中東福祉会、（福）笠木保育園、（福）亀田郷芦沼会、日本ベアリング（株）、（福）親和福祉会、（福）厚生慈仁会、（福）とよさか福祉会、（福）白蓮福祉会、（福）いぶきサポート協会、（福）新潟みずほ福祉会、（福）新潟もぐら会、長岡ライオンズクラブ、（福）新潟地区手をつなぐ育成会、（有）篠原染工、（福）中蒲原福祉会メイプル・ぷらす、（福）中蒲原福祉会ネクサス・わかば、（株）渡辺陸三商店、（一社）新潟県損害保険代理業協会、（福）三和会、（株）新潟ケンベイ、新潟中央青果（株）、エスアイ長岡、（一社）長岡市医師会、（株）中本組、（株）新潟計量システム、（株）本町調剤薬局、（株）新宣、太陽の村、（株）コジマ、ソリマチ（株）有志一同、キワニスクラブ、東京学館新潟高等学校たちばな祭、（株）大西、弥彦ライオンズクラブ、（株）塚田牛乳、森鐵工（株）、八海山尊神社、（株）バウハウス、新潟北酸（株）、新潟縣護国神社、Charlston Dramatic、（株）電通東日本新潟支社、（株）長吉、小林事務機（株）、（福）ふたつわ会青い鳥保育園、菱機工業（株）新潟支店、江南高等特別支援学校放課後活動クラブKAAC、（株）イシカワ、堀川鮮魚（株）、（株）カシックス、（株）キタック、東京学館新潟高等学校インターアクトクラブ、セブンイレブン新潟東明1丁目店、セブンイレブン新潟東明2丁目店、（有）平澤設計、（株）ウオロク、白山神社、新潟ダイヤモンド電子㈱、協立不動産㈱、亀田キャリー㈱、RUNBAKA、（公社）新潟県宅地建物取引業協会、㈱新創、クシヤ㈱、住友建機販売（株）新潟営業所、（株）アクティス、山久企業、お料理味酔、トヨタループス（株）、新潟県花き振興協議会、ホテルオークラ新潟共栄会、フォレストカントリー倶楽部、三井不動産（株）、（株）アルビレックス新潟、アイウッド（株）、新潟県基準寝具（株）、新潟市文化スポーツコミッション、新潟市両川地区民生委員児童委員協議会、バンステージメリーズ、新潟五十嵐会有志一同、まちなか障がい福祉フェス2015、新潟市立結幼稚園有志一同、（公財）全日本きもの コンサルタント協会新潟県、ミドリ工務店、ポワルのほほえみ、（有）サカイ電化センター、粋や、ブレッドカンパニーメリーズ、かくれんぼ、コーヒベア、WEST新潟店、新潟ふれ愛プラザ、旬魚酒菜五郎けやき通店、やまと美容室、珈琲倶楽部新大前店、ソニー生命新潟支社有志、Soi、新潟万代シルバーホテル、地域活動支援センター沼垂よりどころ、こんどう接骨院、ワーカーズゆたか、健康寿司海鮮家CoCoLo東店、信田精肉店、六日町ライオンズクラブ、NTT東日本新潟支店・NTT東日本-関信越有志一同、南魚沼市立総合支援学校、新発田市手をつなぐ育成会よさこいチーム煌、県立江南高等特別支援学校、南魚沼市立北辰小学校教職員一同、新潟市立東石山中学校有志、新潟市職員有志一同、南魚沼市職員有志一同、新潟県職員有志一同、スペシャルオリンピックスin南魚沼市大会を応援する会、地元協力隊（大巻おもてなし隊）、（一社）新潟県レクリエーション協会、新潟空港整備推進協議会、新潟航空路活性化協議会、陸上自衛隊高田駐屯地第5施設群、阿部正史、荒川紀子、安藤やす子、石塚敏子、市村百合子、伊藤和子、伊藤武夫、伊吹勇亮、岩崎久弥、内山明憲、内山聖、宇田政明、大木恵、大西隆、岡田抄織、岡田史、小熊美弥子、鬼澤慎人、小野塚真理子、重川博、加賀田ミヨ、覚張良太、粕谷照美、加藤健一、上木ルミ、上村靖司、木村哲也、工藤知子、隈研吾、倉島敏弘、黒澤東男、権五景、小坂井隆、小嶋徹、小西美津江、小林千賀子、小林直人、小林伸浩、小林一、小山祐介、近藤定雄、斉藤正行、坂井幸子、坂井征治、佐藤達夫、佐藤康子、佐藤羊治、佐野健次、柴田明夫、白石ユリ子、白川美紗子、白倉勲、白倉琢也、新原晧一、鈴木聖二、須山尚子、清野富士子、関潮、関凌太郎、高橋姿、高橋俊夫、高橋宏彰、高橋美也子、武田壽子、竹原哲郎、高井進、橘光一、谷口正和、田野辺智光、外山晴一、外山武夫、外山睦、中島太一、長尾久志、内藤敏樹、中村俊彦、中村真衣、中村美香、中山輝也、西水美恵子、野水雅樹、長谷川克弥、長谷川敬、原陽一郎、速水享、樋口栄治、平山征夫、深滝信夫、深滝洋子、藤原直哉、星野花那子、細川佳代子、堀端嘉彦、益田文和、松本和明、松本仁、丸山久一、宮澤正子、宮地保子、宮本恵理、武藤弘子、室賀美津雄、藻谷浩介、柳田一千一、柳和久、八幡明、山口隆司、横堀義之、吉村彰子、米山宗久、和田充彦、渡邊和忠、渡辺和也

■スペシャルオリンピックス日本　寄付・協賛

㈱城山、大阪マラソン組織委員会、AIGジャパン・ホールディングス㈱、㈱三菱東京UFJ銀行社会貢献基金、海外酒販㈱、在日米国商工会議所、イービーエスディーリングリソーシスジャパン㈱、メリルリンチ日本証券㈱、ソフトバンクモバイル㈱ かざして募金、セコムチャリティオークション事務局、東京海上フィルハーモニックオーケストラ部、東京海上日動Share Happiness倶楽部、㈱CHINTAI、日本オーチス・エレベータ㈱、㈱日本財託、㈱フタバファー、㈱プラボーグループ、㈱マッシー、エーザイユニオン、ブラザーズ㈱、日本オラクル㈱、㈱ローソン、富士ゼロックスアドバンストテクノロジー㈱、虎ノ門積善会、（公社）日本ボウリング場協会、AGCセラミックス㈱、パイロットインターナショナル日本ディストリクト、共同カイテック㈱、UAゼンセン、㈱ソニックジャパン、㈱S.D.B.B.、JR東労組、グロッセ・ジャパン㈱、（一財）明治神宮崇敬会、（一社）学習院桜友会、（一財）三井報恩会、（一社）飯田エレクトロニクス協会、マッコーリー・グループ、（特活）チャリティ・プラットフォーム、（一財）ジャパンギビング、I.R.M.アカデミー、森育子ダンススタジオ、ディー・エイチ・エル・ジャパン㈱、ディー・エイチ・エル・ジャパン㈱端数倶楽部、大同生命社会貢献の会、ソフトバンクモバイル㈱、千葉県騎手会、Triathlon Boys&Girls、㈱トーエル、アメリカン・エキスプレス・インターナショナル,Inc.日本支社、チャリティ白衣ファッションショープロジェクト事務局、㈱PROFESSOR'S ROUND、杉野服飾大学、高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会、軽井沢チャリティー・コンサート実行委員会、国際ソロプチミスト敦賀、ロバート・ウォルターズ・ジャパン㈱、富士ゼロックス端数倶楽部、㈱ソーシャル・スパイス・カンパニー、映画「天心の譜」天草上映実行委員会、UBS証券㈱、伊那食品工業㈱、㈱トシ・コーポレーション、インフィリック㈱、㈱グッドヒル、㈱ビジネスパートナーズ、東京都立大田桜台高校生徒会、東京ワシントン婦人会、（有）難波アソシエイツ、八王子東京パイロットクラブ、㈱スマイルズ、㈱ロジネットジャパン西日本、㈱かるみあ、㈱アップフロントワークス、㈱イデアインターナショナル、トヨタ輸送㈱、㈱あおぞら銀行、日本水産㈱、㈱アシックス、アシックスジャパン㈱、㈱ゴールドウイン、ミズノ㈱、ヨネックスジャパン㈱、エームサービス㈱、日本オフィス・システム㈱、シービーセンター㈱、㈱システムファイブ、（有）濵田商事、中外製薬労働組合、㈱服部不動産、ステート・ストリート・ジャパンCSP委員会、日赤兵庫県支部声の図書奉仕団はあもにいグループ、プルデンシャル生命保険㈱　首都圏中央支社、ソリマチグループ有志一同、（特活）横浜スポーツアンドカルチャークラブ、ヨシダ印刷㈱、㈱スペクター・コミュニケーションズ、グリーンコープ生活協同組合ふくおか、有馬ロイヤルゴルフクラブ、読売新聞西部本社、東京海上日動海上業務部、アンカー・シップ・インベストメント㈱、フィギュアスケーターの集い、ラッセル・インベストメント㈱、㈱プロスティ、東京海上日動火災保険㈱資産運用部、東京木場製材協同組合、三菱UFJインフォメーションテクノロジー㈱、㈱パソナハートフル、東洋大学社会学部志村ゼミ、（一社）日本障害者歯科学会

■SOメイト

損保ジャパン日本興亜企業保険金サポート㈱、損保ジャパン日本興亜キャリアビューロー㈱、㈱ワークスアプリケーションズ、㈱ビルド、マグナス㈱、三井嬉子、廣澤彰、㈱双龍工務店、㈱オーゼン、㈱オオバ工務店、富士ゼロックス福島㈱、福島トヨペット㈱、（有）アサカサービスセンター、（医）安積保養園あさかホスピタル、小川工業㈱、（有）ワクワーク、神奈川県ボウリング場協会、富士ゼロックス㈱、富士ゼロックス端数倶楽部、㈱トーエル、大安興業㈱、横浜ゴム㈱、日本発条㈱、㈱ア・ファクトリー、横浜北ロータリークラブ、鶴岡八幡宮、東日本電信電話㈱神奈川事業部、㈱ファンケル、ファンケルグループもっと何ができるはず基金、藤沢8ロータリークラブ、茶美の会茶道部、セイコーエプソン㈱、富士ゼロックス長野㈱、㈱ティアマリア、JA長野県グループ、長野大学後援会、ホクト㈱、丸美屋食品工業㈱、㈱シーディーホールディングス、国際ソロプチミスト長野ーみすず、信濃毎日新聞社、㈱新興製作所、佐久ライオンズクラブ、（一社）新潟県産業廃棄物協会、リンタツ㈱、㈱加藤自動車相談所、ヒューマンボランティア協会、徳島藍ライオンズクラブ、徳島県勤労者福祉ネットワーク、徳島県共同募金会、スペシャルオリンピックス日本・徳島支援チャリティーゴルフコンペ実行委員会、㈱ファルコン、金谷光夫、SO尼崎プログラムを支える会、甲子園ロータリークラブ、JAWKインターナショナル、神戸社会福祉協議会、神戸あじさいライオンズクラブ、東亜広告㈱、喜多敬、国際ソロプチミスト京都、関西紙料㈱、京都ロータリークラブ、京都ライオンズクラブ、（医）啓信会、（一社）茶道裏千家淡交会、茶道裏千家淡交会京都四青年部連合会、安田政浩、浮田礼子、国際ソロプチミスト京都-弥生、鳥取信用金庫、山岸ルツ子ピアノリサイタル実行委員会、㈱戸信、トーヤク㈱、富士ゼロックス栃木㈱、あずき整骨院、毎日興業㈱、㈱関東パイプ技研、スカイコート㈱、㈱天、㈱力屋

■協力

㈱フォート・キシモト、㈱RIGHTS、㈱マック、日本バルーン協会、エールラン実行委員会、SONサポーター丸の内女子会、小野薬品労働組合、田辺三菱製薬労働組合、笑顔道整骨院グループ、㈱イデアクレント（篠塚正典）、㈱ライゾマティクス、㈱ジャパン通信社、（有）ブルーフィールド、㈱オズ マピーアール、トライ・アングル企画、ルーデンス（田川正一）、㈱ディレクターズシステム、志萱晃一、宮尾純平、En女医会、中野裕弓、Morning☆Diamonds、TOMOKO KOJIMA CHEERDANCE ACADEMY、（公財）日本体育協会、日本スポーツマンクラブ、デルタ航空、クーバー・コーチング・ジャパン、富士ゼロックス東京㈱、セイコーエプソン㈱松本事業所、㈱セールスフォース・ドットコム、第一貨物㈱、エフピコ物流㈱、㈱富士通東北システムズ、㈲サポートプランニング、㈱ステディ スタディ、Chloé青山店、㈱エスイーエス、㈱ワンウェイ、SCSK社会貢献活動クラブ Earth One、キヤノンマーケティングジャパン㈱、ゼビオ㈱、あさかホスピタルグループ、㈱ティーズフューチャー、㈱スポーツワン、日清ファルマ㈱、㈱知足堂、㈱インパクトトレーディング、㈱明治、Chloé、㈱リッシ、ソフトバンクグループ、gooddo㈱、LEGEND STAR Co. Ltd.、㈱ファンコミュニケーションズ、山下泰裕、王貞治、原辰徳、北澤豪、中田英寿、森島寛晃、松浦亜弥、森理世、萩原美樹子、堀尾正明、小林研一郎、為末大、井上康生、国枝慎吾、宇津木妙子、小谷実可子、杉山愛、荒川静香、SHIHO、有働由美子、上野由岐子、柴田亜衣、水鳥寿思、森田智己、久保田智子、西田敏行、名取裕子、和合亮一、アポロ・アントン・オーノ、吉永小百合、町亞聖、羽隅将一、唐橋ユミ、小島智子、金哲彦、荻原次晴、山本ゆうじ、エリック・ワイナイナ、山田玲奈、三宅宏実、三宅義行、藤井彩子、中本健太郎、秋山浩志、浦田典明、奥田智子、富田薫、生田裕佳、松本眞理子、君原健二、小鴨由水、佐藤真海、MISIA、安藤美姫、今井遥、小野沢裕子、おおご菜夕、堀敏彦、近藤丈靖、鈴木秀喜、五十嵐利恵

■個人寄付

村上雅則、細川佳代子、三井嬉子、川上優子、小林廣久、岩崎眞揺、高石好志、加藤武文、萱間隆夫、小林益久、山口計子、横川浩、水町真理子、杉本憲一郎、木太久茂、斎間誠司、藤本京子、藤本純子、近衛甯子、山川哲司、SON主催第1回エールランご参加の皆様、SON主催エールトーク　クリスタルナイトご参加の皆様、SON主催第2回エールランご参加の皆様、SON主催中野裕弓さんチャリティトークショーご参加の皆様、SON主催第3回エールランご参加の皆様、SON主催参加費が寄付になる2014年スペシャルオリンピックス日本チャリティトークショーご参加の皆様、SON主催第4回エールランご参加の皆様、SON主催2015年スペシャルオリンピックス日本チャリティトークショーご参加の皆様、SON主催第5回エールランご参加の皆様

2016年4月30日現在　順不同　敬称略

Special Olympics
Unified Sports®

2016年第1回
全国ユニファイドサッカー大会

大会名称…… 2016年第1回全国ユニファイドサッカー大会
日 程 …… 2016年12月17日～18日
開催地…… 大阪府堺市
参加者数…… アスリート 166名 パートナー122名 コーチ 72名
実施種目…… ユニファイドスポーツ® 11人制サッカー/7人制サッカー

2016年12月17日～18日にかけて、大阪府堺市立サッカーナショナルトレーニングセンターにて、初のユニファイドサッカー全国大会を開催!

SPECIAL OLYMPICS
WORLD WINTER GAMES
AUSTRIA 2017
Graz | Schladming | Styria

2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会
オーストリア

大会名称…… 2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・オーストリア
日 程 …… 2017年3月14日～3月25日
開催地…… オーストリア共和国
参加者数…… 110ヶ国・地域より 15,100名(予定)
アスリート 3,000名 コーチ 1,100名
ボランティア 3,000名 ファミリー 5,000名
会議参加者 800名 メディア代表者 1,000名 ゲスト 1,200名
実施競技…… 8競技 1デモンストレーション
大会サイト …… http://www.austria2017.org/en/

47地区組織活動状況

地区組織名	設立(承認)日	アスリート数	夏季競技実施数	冬季競技実施数	ユニファイド実施数
SON・北海道	1998/5/16	96	6	4	-
SON・青森	2004/11/20	93	3	2	-
SON・秋田	2014/10/24	75	4	-	-
SON・山形	2006/7/7	261	4	5	3
SON・岩手	2006/5/11	53	5	3	-
SON・宮城	1995/11/18	159	10	3	6
SON・福島	2010/2/5	67	6	4	-
SON・栃木	2006/3/18	193	4	1	2
SON・群馬	2013/3/10	62	3	2	1
SON・茨城	2006/2/16	74	2	1	-
SON・埼玉	2003/2/9	282	7	3	-
SON・千葉	2001/12/2	348	7	2	1
SON・東京	1994/10/22	881	10	4	1
SON・神奈川	1995/4/9	361	9	4	1
SON・山梨	2006/4/9	117	2	4	-
SON・静岡	2007/10/14	76	2	-	-
SON・長野	1998/11/23	199	5	7	2
SON・新潟	2004/4/4	409	8	6	1
SON・富山	2005/11/5	121	8	3	3
SON・石川	1996/7/7	84	7	5	-
SON・福井	2006/5/11	57	4	-	-
SON・岐阜	2013/3/22	51	4	-	-
SON・愛知	2000/10/29	209	9	5	-
SON・三重	2004/10/2	72	4	2	1
SON・京都	1996/11/17	180	6	2	-
SON・大阪	1995/3/11	324	9	5	-
SON・兵庫	2001/6/30	444	9	5	-
SON・奈良	2007/2/24	80	4	2	-
SON・和歌山	2010/3/20	42	3	3	-
SON・滋賀	2014/10/12	260	4	1	-
SON・岡山	2005/1/18	196	7	1	1
SON・広島	1998/6/1	177	7	-	1
SON・鳥取	2014/4/10	81	3	-	4
SON・島根	2014/4/4	57	4	-	-
SON・山口	1999/11/21	152	9	3	1
SON・徳島	1997/6/22	91	5	2	3
SON・愛媛	2002/2/17	85	4	-	-
SON・高知	2006/7/15	80	4	1	-
SON・香川	2008/11/13	62	5	1	-
SON・福岡	1996/5/19	216	10	6	1
SON・佐賀	1995/4/8	25	6	1	-
SON・長崎	2002/3/22	188	7	-	-
SON・熊本	1993/3/13	318	15	4	4
SON・大分	1995/12/3	67	6	3	-
SON・宮崎	2003/12/21	124	6	1	1
SON・鹿児島	1998/7/11	125	5	3	2
SON・沖縄	2008/7/15	53	4	-	2

アスリート数/競技実施数:2015年末時点

スペシャルオリンピックスの使命

Special Olympics Nippon

スペシャルオリンピックスの使命は、知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じたさまざまなスポーツトレーニングと競技会を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気をふるい、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供することです。

スペシャルオリンピックス日本のビジョン

スペシャルオリンピックスは質の高いスポーツトレーニングと競技会を通じて、知的障害のある人たちと触れ合うすべての人々が感動を共有し、各地区に根付いた全国的な運動となることを目指します。

スペシャルオリンピックス日本 検 索

「かざして募金」でスペシャルオリンピックス日本を応援!

かざして募金

「かざして募金」とは、2ステップで 100円から継続的に寄付できるソフトバンクの募金プラットフォームです。

■ SoftBankのスマートフォンをご利用の方

携帯電話料金と一緒に支払うことができます

■ SoftBankのスマートフォン以外(他社携帯、PC含む)をご利用の方

クレジットカードで募金ができます

スペシャルオリンピックス2016新潟 大会ハイライト映像

株式会社 AOI Pro.様のご支援で、「スペシャルオリンピックス 2016新潟」大会のハイライト映像を制作いただきました。競技に臨むアスリートたちの躍動感ある映像や大会を支えて下さったボランティアの方々の映像など、スペシャルオリンピックスならではの温かさが伝わる大会ハイライト映像となっています。URL又は QRコードよりご覧ください!

URL: https://youtu.be/uSm2IozFQjo

AOI Pro.

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 ニュースレター「Rainbow」vol.30 企画:SO日本事務局 デザイン:若田友康 編集:トライ・アングル企画 撮影:(株)フォート・キシモト 印刷:(株)文栄社